

おわりに

国として平成31(2019)年に輸出額1兆円を目標に輸出促進を進め、平成28(2016)年は5月に「農林水産業の輸出力強化戦略」が取りまとめられ、同年11月には「農業競争力強化プログラム」の中で戦略的輸出体制の整備が掲げられるなどその推進を加速化してきたところです。しかし、全国の輸出実績は平成27(2015)年まで順調に推移していたところですが、平成28(2016)年は輸出額の伸びの減速がみられました。

九州農政局としても、地域の事業者に赴き、支援施策の説明や輸出に関する相談に応えるなど、輸出促進へ向けて取組を行っているところです。また、県、ジェトロ等関係機関と連携し輸出促進を推進しています。

政府として外国の規制等輸出に関して障壁となるものに対して全力で取り組み、民間のチャレンジや創意工夫が一層引き出され、意欲的な取組が行われるよう支援しているところです。輸出の主役である農林漁業者や食品事業者の方々が、日本産農林水産物の強みを生かし、6次産業化により付加価値が付与された産物などを国内における展開ばかりでなく海外への輸出に繋げ、今後、さらに発展していくことを望みます。